

# 令和元年度 公益財団法人山梨県国際交流協会 事業報告

## 事業概要

外国人住民との「多文化共生」の重要性が一層高まるなかで、社会情勢の変化を踏まえ、市町村や市町村国際交流協会、地域の大学など関係団体との連携・協働を重視しながら、地域レベルの国際化を推進する中核的な組織として、国際交流、国際協力、多文化共生など様々な事業を展開した。

## 理事会・評議員会開催

理事会 4回 令和元年5月24日、令和元年6月14日(書面)、令和元年7月16日(書面)、  
令和2年3月17日  
評議員会 1回 令和元年6月14日

## 事業実施状況

### 1 多文化共生の社会づくりに関する事業

#### (1) 情報収集提供事業

- ① 協会機関誌「YIA Newsletter」発行
  - ・発行時期:季刊(6月、10月、2月の年3回)
  - ・発行部数:2,000部/回
  - ・配布先:会員、各市町村、国際交流関係団体、ハローワーク、各大学、各警察署等
- ② ホームページの運営管理

協会主催事業をはじめ、外国人住民の生活に役立つ情報や、様々な国際交流情報をやさしい日本語や多言語で発信するホームページの管理・運営を行った。
- ③ 国際関係書籍等の整備

国際的な分野での活動等に関心を持つ県民のニーズに応えるための書籍等の整備を図った。令和元年度は、日本語教材関係図書を充実させた。

  - ・場 所:国際交流センター 1階ロビー 「書籍コーナー」
- ④ 各種情報提供
  - ・当協会からの情報提供をはじめ、国際交流、国際協力、多文化共生等に関する有益な情報を収集し、「フェイスブック」等のSNSやHPで情報発信した。
  - ・山梨日日新聞に毎週1回「ウィークリーニュース」を掲載し情報提供を行った。
- ⑤ パネル展の開催

JICA 等関係団体の活動を紹介するパネル展を開催した。

「南米に渡った日本の野球」パネル展

  - ・実施時期:令和元年9月10日～10月10日
  - ・場 所:国際交流センター 1階ロビー
- ⑥ その他

センター利用者の情報交換及び情報提供の場とし、「何でもボード」及び「ボランティアボード」を設置した。

  - ・実施時期:通年
  - ・場 所:国際交流センター 1階ロビー

## (2) 相談事業

### ① 国際交流等相談

外国人住民からの生活相談や、県民からの国際交流・協力活動等に係る相談に協会職員が対応した。

### ② 法律相談

外国人住民を対象に、弁護士による生活や労働問題などに関する相談会を実施した。

- ・実施時期: 第1水曜日(夜)、第3日曜日(午後)
- ・場 所: 国際交流センター 役員室
- ・件 数: 25件

### ③ 地域出張相談

市町村と連携して地域で相談会を計画(令和元年12月15日 中央市田富総合会館)したが、相談予約者がいなかったため実施しなかった。

### ④ やまなし外国人相談センター

外国人住民の生活に関わる様々な事柄について、一元的に情報提供や相談を行う窓口の運営を行った。

- ・開設時期: 令和元年8月1日
- ・場 所: 国際交流センター 2階
- ・実施日時: 火曜日～土曜日(祝日及び12月29日～1月3日は除く。)  
9:00～16:00
- ・相談実績: 66件

## (3) 人材育成事業

### ① 災害時外国人支援セミナー

災害時の外国人被災者支援に必要な通訳・翻訳ボランティア人材の育成や、災害多言語支援センターの設置運営に関するセミナーを開催した。

- ・実施時期: <1日目> 令和元年6月16日  
<2日目> 令和元年7月7日
- ・テ ー マ: 「災害時多言語支援センターの設置と運営」
- ・場 所: 国際交流センター 大会議室
- ・参加者数: <1日目> 7ヶ国23名 <2日目> 6ヶ国18名

### ② 医療通訳ボランティアセミナー

日本語での意思疎通が困難な外国人が医療機関を受診する際に、母国語を理解的に医師等に通訳できる医療通訳ボランティアを育成するためのセミナーを、昨年度に続き県立大学と連携し内容の充実を図りながら開催することとしていた。

- ・実施時期: 令和2年3月7日開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- ・場 所: 国際交流センター 大・各会議室を予定
- ・参加者数: 参加予定だった55名には、当日の講義資料やその他参考資料を送付した。

### ③ 日本語講座

#### ア 初級日本語講座

県内の外国人住民を対象に、日常生活に必要なコミュニケーションを中心とした日本語講座を開催した。

- ・実施時期: 毎週金曜日(夜)、日曜日(午前) 通年開講
- ・場 所: 国際交流センター 小会議室
- ・参加者数: 延べ893名(22ヶ国)

#### イ 資格取得日本語講座

日本語能力試験N3取得に意欲を持つ外国人住民を対象に講座を開催した。

- ・講師: 山梨日本語ボランティアの会会員
- ・実施時期: 令和元年5月～12月 全24回
- ・場所: 山梨県立図書館
- ・参加者数: 延べ166名

#### ④ 県民向け外国文化・外国語講座

##### ア 外国文化講座

様々な国の芸術、音楽、料理、生活などを紹介し、異文化理解を深めるための講座を開催した。

- ・講座内容: アイリッシュ・カルチャー、ブリティッシュ・カルチャー、日本語の特徴を探る講座等
- ・講師: 外部講師
- ・実施時期: 令和元年5月～令和2年1月
- ・場所: 国際交流センター 小会議室
- ・参加者数: 延べ445名

##### イ 外国語講座

外国語習得を目指す県民向けに少人数制の語学講座を開催した。

- ・講座内容: 英会話(入門、初級、中級)、フランス語、イタリア語、スペイン語、英語力アップ講座、留学体験講座
- ・講師: 外部講師
- ・実施時期: 令和元年5月～令和2年2月
- ・場所: 国際交流センター 小会議室
- ・参加者数: 延べ2,519名

## (4) 多文化共生推進事業

### ① 地域住民防災力向上事業

市町村等の協力を得て、災害弱者になりがちな外国人住民の防災意識を高めるための防災教室を実施した。

- ・実施時期: 令和元年10月2日
- ・場所: 山梨学院大学国際リベラルアーツ学部(iCLA)
- ・参加者数: 17ヶ国33名(共催: 甲府市、山梨学院大学)

### ② 国際交流センター利用者のための防災訓練

国際交流センター利用者(入居者、来館者等)を対象として、地震・火災等の災害発生時を想定した避難訓練を実施した。

- ・実施時期: 令和元年11月22日
- ・場所: 国際交流センター 全館、駐車場
- ・参加者数: 20名

## 2 国際交流に関する事業

### (1) 国際親善交流事業

#### ① ワールド・チャリティー・クリスマス

チャリティーを目的として、世界の様々な音楽や民族舞踊の発表、外国料理の紹介などを行うクリスマスイベントを開催した。

- ・実施時期: 令和元年12月14日

- ・場 所:国際交流センター 大会議室、ロビー等
- ・参加者数:約560名

## (2) 国際交流推進事業

### ① 国際関係団体等連携事業

「やまなし国際ナショナルネットワーク (YIN)」などと連携し事業を実施することにより、国際感覚豊かな人づくりや世界に開かれた山梨の実現のための国際交流・国際協力活動を行った。

- ・参加団体:33団体
- ・定期総会:令和元年6月22日
- ・運営委員会:3回
- ・実施事業:新春多文化交流会 令和2年1月25日
- ・参加者数:約150名

### ② 市町村国際交流協会等連絡会の開催

#### ア 連絡会の開催

市町村や市町村国際交流協会の職員を対象に、「熊本地震に学ぶ多文化共生の地域づくり～外国人被災者支援活動を通して～」と題し、研修会を開催するとともに、各団体が抱える課題と対応策について意見交換を行った。

- ・実施時期:令和元年6月26日
- ・場 所:国際交流センター 大会議室
- ・参加者数:25名

#### イ 研修助成の実施

多文化共生や災害時の外国人支援について理解を深め、知見を得ていただくため、全国市町村国際文化研修所(JIAM)への研修助成を行った。

- ・助成対象人数:1名(甲府市)

### ③ 県立国際交流センター管理事業

- ・施設・設備の維持管理、清掃業務、夜間警備、保守点検、駐車場管理 等
- ・会議室の使用許可及び使用料徴収

利用件数 1,800件(前年 1,847件)(対前年比 2.5%減)

利用者数 22,587名(前年 24,593名)(対前年比 8.2%減)

※県と協議の上、2月29日から一部を除き会議室の使用を中止した。

## 3 国際協力に関する事業

### (1) 国際協力推進事業

#### ① 国際交流人材バンクの運営

県内在住の通訳者及び翻訳者並びにホームステイ受入先等の登録や、その利用に伴う連絡調整を行った。

- ・登録者数:語 学 延べ272名  
:その他 49名(ホームステイ25名、技術指導14名、その他10名)
- ・内 容:医療・教育機関、児童相談所、市町村、企業等からの通訳・翻訳など
- ・利用件数:21件(通訳・翻訳16件、その他5件)

#### ② 海外技術研修員等受入事業

国際交流センターの宿泊施設で生活する海外技術研修員、県費留学生などに対し、日常生活や日本語習得などをはじめ、当協会主催事業への参加など、当センターでの生活面における支援を行った。

- ・実施時期:通年

・場 所:国際交流センター 3・4階

・センター入居者への生活指導

海外技術研修員	2名(ブラジル1名、ペルー1名)
留学生	16名(インドネシア5名、韓国4名、中国4名、タイ3名)
国際交流員	4名(フランス2名、アメリカ1名、ブラジル1名)
派遣職員	2名(中国1名、韓国1名)
自治体協力交流研修	1名(ブラジル1名)

③ グローバル支援事業

年間を通して募金活動を行い、集まった募金等とチャリティー・クリスマスの収益金を合わせ、シリア難民やスーダン難民支援として、「特定非営利活動法人 難民を助ける会(AAR Japan)」へ寄付した。

・寄附金 150,000円 (内チャリティー・クリスマス収益金 140,600円)

## 4 国際理解に関する事業

### (1) 国際理解促進事業

① やまなし YIA 国際塾

国際感覚豊かな人材を育成するため、海外留学等を支援するセミナーやJICA関連施設訪問を実施した。

ア 海外留学セミナー

- ・実施時期:令和元年11月9日
- ・場 所:国際交流センター 大会議室
- ・内 容:留学の基礎知識、留学プログラム、支援制度などに関する講演及び相談会
- ・参加者数:25名

イ JICA 地球ひろば訪問

- ・実施時期:令和元年12月7日
- ・場 所:JICA 地球ひろば
- ・内 容:施設見学、ボランティア体験談受講
- ・参加者数:20名

② 国際交流・国際理解のための高校生の主張大会(山梨県高等学校ユネスコ連絡協議会との共催)

国際交流、国際協力に対する理解促進を目的として、高校生による弁論大会を開催した。

- ・実施時期:令和元年9月23日
- ・場 所:国際交流センター 大会議室
- ・参加者数:約40名(うち発表者13名)